

ミラー型ドライブレコーダー（リアカメラ付属）

DVR-MIRX

取扱説明書

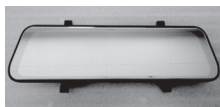
Ver1.00



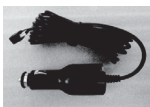
内容物の確認

セット内容

取扱説明書・保証書・microSD カード（32GB）



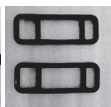
本体



電源ケーブル(シガー)
ケーブル長 (3m40 cm)



リアカメラ
ケーブル長 (6m40 cm)



取付バンド
×2

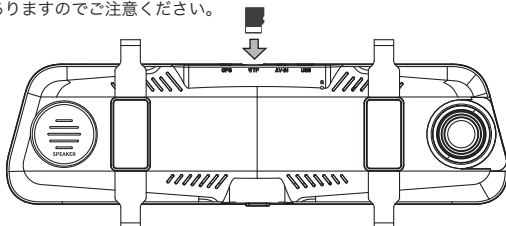
microSDカードの取り出し / 挿入

※必ず電源オフの状態で行ってください。

【取り出し】 microSD カードをカチッと音がするまで押し込み、ゆっくり戻す「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
「カチッ」と音がしたら、microSD カードに指を添えながら手前に戻してください。

【挿入】 カチッと音がするまで、ゆっくりと指で押し込む
microSD カードの金属端子面がディスプレイの背面側になるよう、microSD カードスロットにゆっくりと差し込んでください。

注意：確実にロックされる前に指を離すと、microSD カードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



- データは上書きされますので、重要な映像はバックアップしてください。
- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。
- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをおすすめします。[⚙️ 設定メニュー / SDカード初期化]
- microSD カードは消耗品です。定期的に新しい microSD カードへの交換をおすすめします。

* 8GB ～ 64GB（クラス 10/SDHC 規格準拠）

目 次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
内蔵電池の取り扱いについて	6
取付上の注意事項	6
microSD カードご使用に関しての注意事項	7
各部の名称とはたらき / バックミラーへの取り付け方	8
ドライブレコーダーを取り付ける	9
ドライブレコーダーを使う	10
録画の種類	11
液晶画面の表示 [タッチパネルスクリーン]	12
記録ファイルの再生 / 削除	13
設定メニュー	14
製品仕様 / 録画時間の目安	15

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。本製品のアップデートに関する情報も弊社ホームページをご覧ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- 本機は GPS を付属していないため、ご使用前に必ず日時設定を行ってください。長期間使用しない場合は、日時がずれることがあります。1 ヶ月に 1 回程度、日時設定を行ってください。
- 内蔵電池の充電状況が万全でない状態では、駐車録画ができないことがあります。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本製品は12V車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中に microSD カードを取り出すと記録データと microSD カードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

●内蔵電池の取り扱いについて



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 本製品は充電電池を内蔵しています。
充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。
次の禁止事項を必ずお守りください。
- 本製品は充電電池を内蔵しています。お客様ご自身では交換できません。
お客様による交換は危険ですから絶対におやめください。
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。
充電電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。
- 本商品に内蔵されている充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

●取付上の注意事項

- 本製品が既存ルームミラーにしっかり装着されているかご確認の上、走行してください。
走行中、運転者によるミラーの角度調整は大変危険ですので、絶対におやめください。

本製品は、既存ミラーとは距離感、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
- 本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障・破損の原因になります。
取り付けの際は、純正ミラーに負荷が掛からないように、もう片方の手で押さえながら作業をしてください。
- 正面から見て、純正ミラーの中心になるように取り付けてください。
- 取り付け時や取り付け後など、本製品のミラー面及びフレーム（本体）を指等で強く押したり、乱暴に扱うなど、無理な力を加えないでください。
- ミラーの角度調整を行う時は、本製品だけを持って行くと、外れる可能性があります。既存ミラーと一緒に持って調節してください。
- コンパウンド入りのクリーナーでミラー面及びフレーム（本体）を拭かないでください。
紫外線の影響により、本体色が退色する場合があります。
- 上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

microSD カードご使用に關しての注意事項

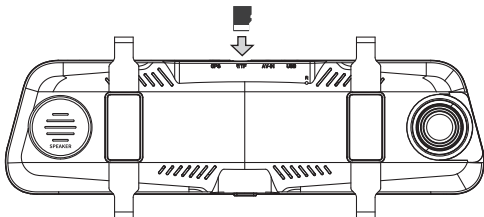
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを (電源を) オフ にして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に關しての注意事項

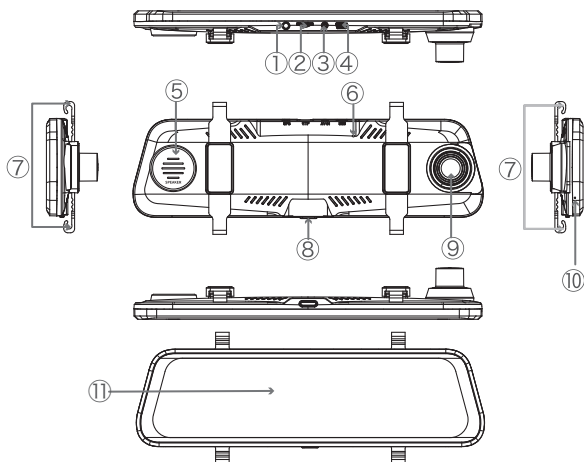
- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われななどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



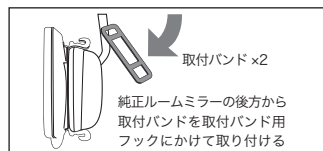
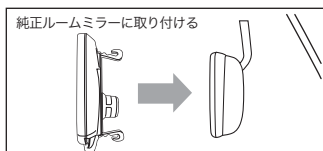
- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード (推奨品) への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき



- ① [GPS] 使用しません ② [TF] microSD カードスロット
 ③ [AV-IN] リアカメラを接続 ④ [USB] 電源ケーブルを接続
 ⑤ スピーカー ⑥ [R] リセットボタン ⑦ 取付バンド用フック (上下) × 2
 ⑧ 電源ボタン (長押し: 電源オフ / 短押し: 画面消灯 / [電源オフ時] 短押し: 電源オン)
 ⑨ 伸縮式カメラレンズ (手動で左右に伸縮、レンズ部分は上下左右に手動で角度調節できます。)
 ⑩ マイク (録音用) ⑪ タッチパネル画面

バックミラーへの取り付け方



※カメラレンズのフィルムを剥がしてから撮影してください。

ドライブレコーダーを取り付ける

[設置・電源ケーブル配線時のご注意]

車両に TV フィルムアンテナがある場合、本体または各ケーブルを離して設置してください。

本体カメラ設置

TV アンテナからカメラ本体を 12 cm 以上離す

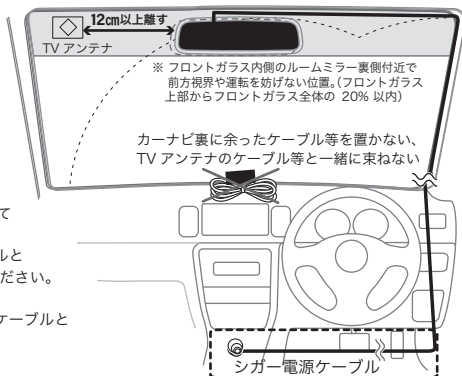
設置に関するご注意 (リアカメラケーブルも同様)

TV フィルムアンテナから
本体を 12 cm 以上離して設置
してください。

電源ケーブルは TV フィルム
アンテナから 10 cm 以上離して
配線してください。
TV フィルムアンテナケーブルと
逆方向に引き回し配線してください。

また、TV フィルムアンテナケーブルと
一緒に束ねないでください。

電源の配線は内部でカーナビの近くに余った
ケーブル類を束ねないでください。

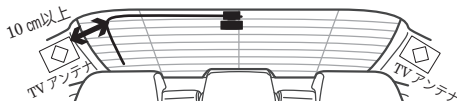


- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。
※道路運送車両の保安基準 第 29 条 (窓ガラス)、細目告示第 39 条、第 117 条および
第 195 条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にレンズを車外 (後方) に向けて設置してください。

TV アンテナが後方にある場合リアカメラ接続ケーブルを 10 cm 以上離す



- 両面テープ ※脱脂クリーナーなどでリヤガラスを清掃し、よく乾かした後に貼付けてください。
両面テープがカメラ側に来るようにブラケットを回してレンズが車外に向くようにガラス面に貼りつけます。
設置終了後、配線の取回しを行なってください。
取り付け後、カメラの部分を回して、角度を調整してください。

リアカメラの上下の角度は本体
画面で後方車のナンバーが確認
できるように調整してください。

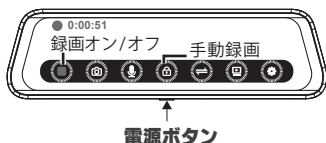
ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する

2) 車のエンジンをかける（ドライブレコーダーの電源がオンになります）

エンジンをかけた状態で電源ボタンを 2 秒以上長押しすると電源が切れます。再び、電源ボタンを短押しすると電源が入ります。電源をオフにすると録画できません。



エンジンをかけた状態で電源ボタンを短押しすると録画状態のまま画面が消灯しバックミラーとして使用できます。再び、電源ボタンを短押しするか、画面に触れると録画映像が表示されます。また、画面に触れるとメニューが表示されます。録画オン / オフはタッチパネルメニューでも操作できます。

3) 常時録画を開始

①常時録画

車両のエンジンをかける（本体に電源が入る）と撮影を開始します。録画中は、液晶画面上に●が赤点滅します。常時録画の映像は microSD カードの Video フォルダに保存されます。F フォルダ（フロントカメラ）R フォルダ（リアカメラ）

②衝撃検知による録画（衝撃録画）

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、常時録画の途中（衝撃のあった時間まで）+1 分を Lock フォルダに保護ファイルとして保存されます。

③手動録画

録画中、液晶メニューの マークをタッチすると、タッチするまでの常時録画 +1 分を Lock フォルダに保護ファイルとして保存します。

④録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源オン時に電源ボタンでオフにしても録画を停止します。

また、タッチパネルのメニューでも録画をオン / オフできます。

4) 駐車録画（録画時間は内蔵バッテリーの充電状態によって異なります。最大合計 5 分程度です。）

車両のエンジン停止時、衝撃を感知すると電源が入り録画を開始します。30 秒前後、保護ファイルとしてフロント、リアそれぞれ Lock フォルダに保存されます。動作の目安時間は録画時間 30 秒 × 約 8 回前後です。

microSD カード のファイル構成

ファイル名 yyddmm-hhmmss-00001(通し番号)F(フロント).MOV

Lock	F	EMER191015-171139-000001F.MOV	保護ファイル
	R	EMER191015-171139-000001R.MOV	
Photo	F	FILE191015-164708-000001F.JPG	静止画ファイル
	R	FILE191015-164708-000001R.JPG	
Video	F	FILE191015-164708-000001F.MOV	常時録画ファイル
	R	FILE191015-164708-000001R.MOV	

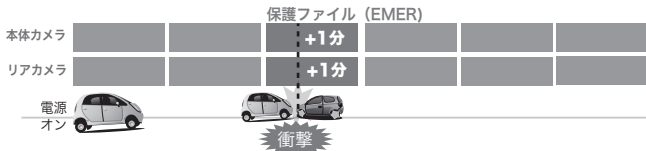
録画の種類

電源オンで常時録画＋衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。容量がいっぱいになったら古い常時録画ファイルのみ上書きされます。

録画ファイル ※録画の1ファイルの時間は約1分、3分、5分から選択可能



衝撃時から+1分のファイルが保護されます。
(タッチ時)

衝撃（保護）録画

衝撃時（Gセンサーが衝撃を検知したとき）や手動でロック（保護）したときは、FILEの名前の頭文字をEMERに変えて保護ファイルになります。



電源オフで常時録画＋衝撃録画を終了します。

静止画撮影

電源オン状態で録画を停止してにタッチすると静止画が撮影されます。

駐車録画

※駐車録画設定オンの場合

車両のエンジン停止後、（Gセンサー）で衝撃を検知したときに電源がONとなり録画を開始します。

1ファイル30秒の保護ファイルになります。（EMERで始まるファイル名）

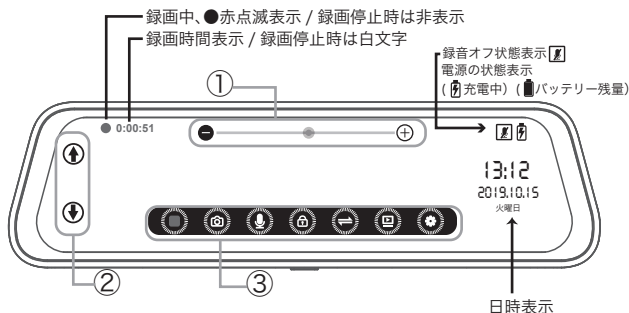
※内蔵電池の充電状況が万全でない状態では、駐車録画ができないことがあります。

【注意事項】

- 録画中はmicroSDカードを取り外さないでください。
- microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。
保護されているファイル（衝撃、手動録画ファイル）や静止画ファイルは上書きされません。
保護されているファイルでいっぱいになるとフォーマットしないと録画できなくなります。
定期的に必要なファイルは保存してフォーマットしてください。

液晶画面の表示 [タッチパネルスクリーン]

液晶画面の表示



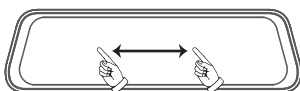
以下の設定等は、画面にタッチして行えます。

① ●+ 液晶画面明るさ調整 ●暗い+明るい

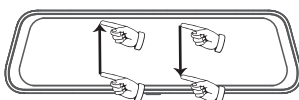
② ↑ ↓ 画面表示角度調整

- ③
- 録画 ■(赤) オン / □(白) オフ
 - (録画オフ時) フロントカメラで静止画撮影
 - 録音 ● オン / ● オフ
 - (録画オン時) 録画中ファイル保護 / 保護中にタッチすると保護解除
 - リアカメラ⇄フロントカメラ表示切替
 - (録画オフ時) 録画ファイル再生モード画面表示
 - (録画オフ時) 設定メニュー画面表示

画面に触れ指先を横にスライドさせるたびに前後カメラの表示がリア⇄フロントに切り替わります。



画面に触れ指先を縦にスライドさせるたびにカメラ表示の角度の調整が行えます。

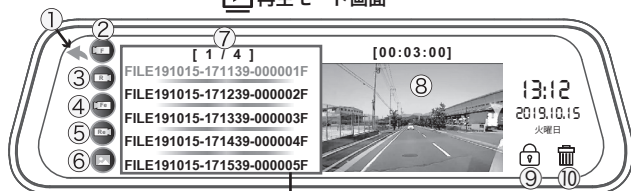


記録ファイルの再生 / 削除

画面にタッチして録画を停止してから再生モード  をタッチしてください。



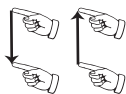
 再生モード画面



タッチして
選択決定

- ① 前画面に戻る
- ② 常時録画 (フロント) 映像ファイルを表示
- ③ 常時録画 (リア) 映像ファイルを表示
- ④ 衝撃録画または保護 (フロント) 映像ファイルを表示
- ⑤ 衝撃録画または保護 (リア) 映像ファイルを表示
- ⑥ 静止画ファイル (フロント) を表示
- ⑦ ファイル一覧 [選択ファイルを右に画像表示]
画面スワイプでページ移動
- ⑧ 選択ファイル画像 (タッチすると全画面表示で再生)
- ⑨ 選択ファイルを保護または保護解除
- ⑩ 選択ファイルを削除

ページ切替

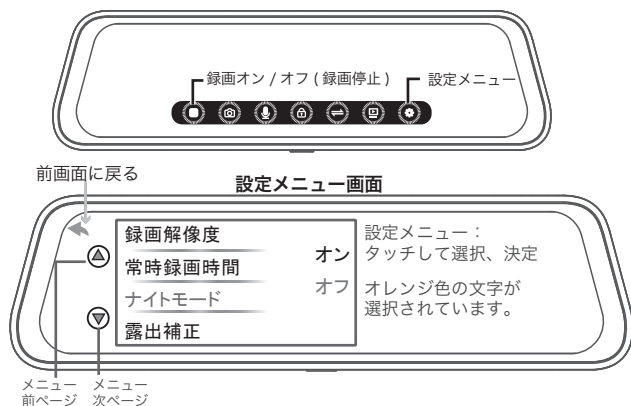


再生画面



設定メニュー

画面にタッチして録画を停止してから設定メニューをタッチしてください。



以下の設定等は、画面にタッチして行えます。

⚙️ 設定メニュー詳細

設定メニュー	設定値	初期値
録画解像度	1080P (FHD・200 万画素) / 720P (HD・100 万画素)	1080 P
常時録画時間	1 分 / 3 分 / 5 分	3 分
ナイトモード	オン / オフ	オフ
露出補正	-2 / -1 / 0 / 1 / 2 (録画映像の明るさ補正) 暗い ← → 明るい	0
画面明るさ自動調整	オフ / オン (自動で画面の明るさを調整)	オフ
WDR	オフ / オン	オフ
G センサー	オフ / 敏感 / 標準 / 鈍感	標準
駐車録画	オフ / オン	オフ
画面自動消灯	オフ / 1 分 / 2 分 / 3 分	オフ
言語	日本語	日本語
音量	オフ / 大 / 中 / 小	中
周波数	50Hz/60Hz	50Hz
カメラ画面表示	リア / フロント	リア
日時設定	設定画面	-
SD カード初期化	-	-
システム初期化	-	-
バージョン情報	-	-

製品仕様 / 録画時間の目安

■仕様

●外形寸法	本体：約 260(W) × 75(H) × 40(D)mm (ブラケット除く) リアカメラ：約 55(W) × 40(H) × 30(D) mm		
●重量	本体：約 343g (ブラケット除く) / リアカメラ：約 31g		
●液晶サイズ	9.66 インチ静電タッチパネル液晶		
●カメラ	前方カメラ：200 万画素 C-MOS センサー リアカメラ：200 万画素 C-MOS センサー		
●画角	前方カメラ：水平 120°/ 垂直 64°/ 対角 143° リアカメラ：水平 102°/ 垂直 53°/ 対角 124°		
●録画保存種類	常時録画 (1 分 / 3 分 / 5 分)、イベント録画 (衝撃 / 手動)		
●記録データ	映像、音声、G センサー情報		
●ファイル形式	動画：MOV 静止画：JPG		
●映像再生	本体液晶、PC 再生 (専用ビューアーは付属していません)		
●録画解像度 / 録画フレーム数	【本体】 200 万画素：1920×1080/30fps 【リア】 200 万画素：1920×1080/25fps 100 万画素：1280×720/30fps 100 万画素：1280×720/25fps		
●周波数	50Hz/60Hz LED 信号対応		
●駐車録画	オフ / オン (衝撃時)		
●電源断録画	電源断後 1 秒保証：リチウムイオンバッテリー 500mA		
●音声録音	ON/OFF 可	●操作音	ON/OFF 可
●消費電流	約 1A	●電源電圧	DC5V
●WDR	ON/OFF 可	●ナイトビジョン	ON/OFF 可
●保存温度	-20℃～ 70℃	●動作温度	-10℃～ 65℃
●G センサー	オフ / 鈍感 / 標準 / 敏感		
●対応 SD カード	microSD カード 8 ～ 64GB/class10 以上		
●SD カード管理	定期的フォーマット必要、FAT32		
●付属品	電源ケーブル (ケーブル長：3m40 cm / シガーソケットタイプ) 取付バンド ×2、リアカメラ (接続ケーブル長 6m40 cm)、 microSD カード (32GB)、取扱説明書、保証書		

■microSD カードの録画時間の目安 (microSD カード 32GB 付属)

※撮影の状況などによって変動する場合があります。

1 カメラ時 (1080P/FHD・200 万画素)				1 カメラ時 (720P/HD・100 万画素)			
microSD	16GB	32GB	64GB	microSD	16GB	32GB	64GB
録画時間	約170分	約340分	約680分	録画時間	約290分	約580分	約1160分
2 カメラ時 (1080P/FHD・200 万画素)				2 カメラ時 (720P/HD・100 万画素)			
microSD	16GB	32GB	64GB	microSD	16GB	32GB	64GB
録画時間	約90分	約180分	約360分	録画時間	約110分	約220分	約440分



株式会社ワーテックス

〒 373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)